

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年4月16日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970400234
法人名	社会福祉法人 ふるさと自然村
事業所名	グループホーム なんごく
所在地	〒783-0049 高知県南国市岡豊町中島石ヶ坪1298
自己評価作成日	平成21年11月13日
評価結果市町村受理日	平成22年5月14日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年12月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3970400234&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

近くに国分川が流れ、田畑に囲まれた環境の中で、利用者と職員が共にゆっくりと過ごしています。ホームの敷地内には、畑があり土に触れ季節の野菜を栽培し、農作業を楽しんでいます。職員の弾くピアノの伴奏に合わせ、懐かしい歌を歌ったり、天気の良い日にはドライブに出掛け楽しい時間を過ごしています。職員が利用者寄り添い共に生活し、いつも笑顔で安心して生活できる普通の家庭のような雰囲気のグループホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

豊かな自然環境に恵まれた2階建てのホームである。内部は明るく清潔感があり設備も整っており、アットホームな雰囲気である。敷地内の畑では、季節の野菜（大根、人参、葱、さつまいも）が栽培されている。利用者の中には元農業従事者もおり、職員が利用者から習う場面もあり、収穫した野菜は食材として調理するなど、共に農作業の喜びを味わっている。また、職員が弾く電子ピアノの伴奏に合わせてリズムを取ったり歌ったりして楽しい時間を過ごしている。職員の退職者も少なく利用者との馴染みの関係も築かれている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	その人らしい生活を提供できるよう日々職員同士で話し合いながら取り組んでいる。個々の要望に応えられるように取り組み、室内での生活ばかりにならないよう散歩や畑仕事、ドライブなどを取り入れ、地域の中の一員として暮らしている。	事業所独自の理念があり、月1回の職員会や日々の打ち合わせの機会に理念について話し合い、意識づけを行うとともに、一人ひとりの思いや暮らしを大切に、その人らしい生活ができるよう、ケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域住民の一員として町内会に加入し、年に2回田役に参加し地元の方々と交流を図っている。	町内会に加入し、広報などで地域活動の情報を把握し、用水路の清掃などに参加したり、散歩、買物、喫茶店の利用時に地域住民と交流している。また、地域住民が立ち寄ってくれたり、見守りの協力を得るなど、関係づくりに努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	玄関先にベンチを設置し、入居者の方とご近所の方々が話をする中で、認知症の理解をして頂いている。今後、地域の方々をホームに招き、百歳体操や紙芝居による介護事業所等の説明など予定している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームでの取り組み状況を毎回写真にて紹介し、アドバイスをもらうなど、今後の取り組みやサービスの向上に繋げている。また、運営推進委員会の内容は玄関に提示している。	事業所から評価の結果報告や運営状況など説明し、委員から意見や提案を出してもらい、双方向的な会議となるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議を通じて、ホームの実情を見てもらっている。また、サービスの中で困り事があった場合は相談するなど、協力関係を築くよう努めている。</p>	<p>市の担当課に電話で相談したり、運営推進会議を通じて事業所の実情や課題等について、指導や助言をもらうなど連携を図っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>事業所として身体拘束について定期的に勉強会を実施したり、外部研修にも参加するなど、職員の身体拘束をしないケアの意識は高く、理解できている。</p>	<p>身体拘束に関する勉強会を定期的実施し、職員の理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は玄関に施錠せず、外出傾向のある利用者については、地域の協力も得ながら見守り支援をしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>事業所として高齢者虐待について定期的に勉強会を実施し、防止に努めている。また、業務の中で管理者が職員に助言や動機づけを行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、財産相続について協議中の利用者の親族がおり、成年後見制度について、市町村から話してもらうようにしている。職員の関心もあり、勉強会を予定している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ご本人やご家族と十分に話し合い、双方が理解納得ができるように取り組んでいる。また、その際わからないことや疑問に思ったことについては、いつでも相談してもらえるようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者に日頃のかかわりの中で、不満や苦情がないか聞くようにしている。意見箱を玄関に設置しているが、いかされていない。直接職員に苦情があった場合には記録を残し、職員会で対応や今後の対策について話し合うようにしている。</p>	<p>家族の訪問や行事、3カ月毎のカンファレンスの際に、家族の意見や要望を聞く機会をつくり、出された意見は職員会で話し合いサービスに反映している。家族会は組織されていない。</p>	<p>家族会の立ち上げや家族との懇談会など、家族同士が気軽に話し合い、事業所に意見等を伝えられる仕組みづくりの検討を期待したい。</p>
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1回職員ミーティングを開催し日々の業務で気づいたことや、意見や提案を聞く機会を設け、運営に反映させている。</p>	<p>月1回のミーティングや日々の申し送り、個別面談などを通じて、職員の意見や要望を聞く機会をつくり、利用者本位の業務の見直しなど運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>6月、12月に人事考課を行い、目標達成状況や、勤務状況により給与及び賞与に反映できるようにしている。また、国内外の職員旅行の支援など、職場環境・条件の整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりにあった研修を見極め、法人内外の研修を受講するよう支援している。また、毎月ホーム内で勉強会を実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内のグループホームや事業所との交流はあるが、法人外の地域の同業者との交流する機会が少ない。県内の宅老所、グループホーム連絡会に入会して、職員の交流の機会や質の向上を図っていきたい。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居希望から決定までの間に、本人と面接を行い、本人の心身の状態や思いを受け止めるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の申し込み時に、家族と面接を行い、家族の思いや困っていることを聞き取るよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際に、本人の状況等を聞き取り、関係事業所から情報を取り寄せ、連携を持つことで、その方に合った対応ができるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人のできること、できないことを見極め、介護される一方の立場におかず、共に暮らす者同士として、本人から学んだり支えあう関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアプラン作成時に家族にカンファレンスに参加してもらい、本人の状態を報告し、家族の意見、要望、悩みについて話し合う機会を持っている。また、家族がいつでも面会に来やすいよう信頼関係を築き、家族と共に本人を支え合っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族に協力を仰ぎ、馴染みの方や場所に連れて行ってもらえるよう働きかけている。また、職員と一緒に出かけられるように家族から情報を収集している。	殆どの利用者は訪問美容を利用しているが、家族の協力も得て、馴染みの美容院や商店に行ったり、友人、知人と交流するなど、利用者一人ひとりの馴染みの関係が継続できるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	当人同士がお互いに声を掛けたり、誘い合ったりできるよう、職員が仲介したり、散歩や家事等、共に生活していくなかで関係を築いていくよう、支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が終了した場合であっても、意向を聞いたり、相談に乗る旨を伝え、関わりを断ち切らないよう努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者一人ひとりの暮らし方の希望を本人や家族から聞き、日々の暮らしの中で思いや意向を引き出させるよう関わりを持ち、職員全員で本人本位に検討している。	利用者毎に気づきノートを作成し日々の生活について記録し、職員間で共有するとともに、利用者との会話や仕草等から、本人の希望や意向を把握し、サービス向上につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生まれてからこれまでの生活や暮らしを家族や本人から聞き取り、生活歴の把握に努め、出来る限り馴染みの暮らしが継続できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の暮らしの中で、一人ひとりの出来ること出来ないことを活かした活動を通じて、その人の有する力を見出している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族、担当職員、管理者、看護師にてカンファレンスを開催し、本人、家族の要望やアセスメント結果を踏まえ、意見やアイデアを出し合い、介護計画を作成している。	介護計画の見直しは3カ月に1回行っているが、状態に変化が生じた場合はその都度見直し、家族を交えてカンファレンスを行い、現状に即したケアプランを作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活、行動など、具体的に記録するとともに、利用者や家族の意見や、職員の気づきを共有し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族や入居者の要望に応じたサービスが提供できるように、関連施設等との連携を図り、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域住民には日々の生活の中の協力を頂いている。スーパーは少し遠方ではあるが、利用者と食材の買い物に出掛けたり、近くの喫茶店にお茶をしに行っている。また、利用者の行方がわからなくなった際には、町内放送で呼びかけ検索してもらうなど、協力体制ができています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>24時間連携が図れる協力病院があり、月2回の往診診療も受けている。かかりつけの病院がある場合には、家族対応にて受診しており、情報の交換もしている。</p>	<p>かかりつけ医については本人、家族の希望に沿って受診できるよう支援している。家族の通院を基本としており、受診結果については家族から報告を受け共有している。また、協力医療機関と連携して適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員を配置しており、入居者一人ひとりの健康管理や医療行為を行っている、その中で、急変や事故が発生した場合には、すぐに看護職に報告、連絡、相談し、対応できる体制になっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>医療機関や家族とも情報交換や意見交換を行い、早期退院に向け連携をとっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の意向について、協力医と共に話し合いながら対応している。また、医師より看取り介護を要すると判断され家族が、看取り介護を希望された場合には、同意書を頂き対応する体制になっている。</p>	<p>入居時に、重度化した場合の対応指針に基づき、本人や家族に説明し、主治医の判断で看取り対応が必要となった時点で、再度、家族と話し合い、家族等の意向に沿って事業所で看取りを行う体制ができています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年に1回は応急訓練を実施している。また、緊急時には在宅療養診療所の医師と連絡が相談ができる体制がとれており指示を仰ぐようにしている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防署立会のもと災害避難訓練を実施している、また、近々地区と合同の防災訓練を実施する予定となっている。</p>	<p>災害避難訓練は年2回消防署立会のもと定期的に行っているが、今のところ地域住民の参加はない。地区合同の防災訓練に参加する予定をしている。災害時の非常食料等の準備はできている。</p>	<p>災害時には地域住民の協力が欠かせないので、運営推進会議を活用したり、地域の防災訓練への参加を契機として、地域住民の参加を促す取り組みを期待したい。</p>
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人前であからさまに介護をしないようにし、人格を尊重した言葉掛けをしている。また、居室で介助をする際には入り口の扉を必ず閉め、プライバシーの保護に努めている。</p>	<p>プライバシーの保護について、日々のミーティングの中で折に触れ話し合いの機会を持ち、職員に周知し、本人を傷つけないようにさりげない言葉かけや誘導に配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日々の生活を共にし、寄り添い暮らすことで、出来ること、出来ないことを理解した上で、生き生きとした言葉や笑顔で、本人の思いや希望に沿って自己決定できるよう支援している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>調理、洗濯、掃除など、一人ひとりのペースにあわせて作業するようにしている。また、どのように過ごしたいか希望があれば、思いに沿えるよう支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>一緒にタンスの中からお気に入りの服を探し着て頂いている。お化粧品をしている方もいる。衣服が汚れた場合にはすぐ更衣している。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>一緒に買い物に行き、食事の準備、片付けを行っている。季節の物を出来るだけ使い、畑で収穫した取れたての野菜を使ったりしている。また、行事に合わせた料理を考えて、楽しみになるよう工夫している。</p>	<p>利用者と一緒に食材の買い物に行ったり、畑で採れた野菜などを食材に使っている。調理から片付けまで、利用者の個々の力が活かせるよう、職員は見守りながら支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとり食べる量や形態を考慮し提供している。水分もお茶のほか、牛乳、コーヒー、紅茶など工夫している。食事量と水分の摂取量の少ない方は毎日摂取状況を把握している。3カ月毎に管理栄養士にメニューをみてもらい栄養バランスを確認している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、本人の力に応じた口腔ケアを実施し、必要に応じて介助している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個々の排泄パターン、リズムを把握し、時間誘導を行っている。入居後、殆どの利用者のオムツ使用が減っている。</p>	<p>排泄チェック表で個別に排泄パターンを把握している。入居前は殆どの利用者がリハビリパンツを着用していたが、現在では、布パンツを使用してトイレで排泄が出来るようになり、自立に向けた支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日排便の確認を行い、2日間排便のない方にはプルーンジュースを飲で頂いている。どうしても排便のない方には主治医に相談し、下剤を処方してもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>個々の希望に沿ってゆっくりと入浴できるようにしている、拒否や「後で」などタイミングあわない時は、無理強いせず、時間や日を変更したりしている。</p>	<p>利用者の希望に合わせて夏場は2日に1回、冬場は3日に1回など工夫し、基本的に毎日入浴できるよう支援している。入浴を拒否する利用者には、声かけのタイミングや入浴日を変えるなど、工夫しながら支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中、散歩や畑仕事、ドライブなどで外気に触れることを多くし、夜間は気持ちよく眠れるように支援している。昼間に傾眠や疲労がある利用者は昼寝を行うなど休息している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>一人ひとりの薬の目的や副作用、用法や用量について、ホームの勉強会で理解するようにしている。また、処方が変わった場合は、職員全員が把握し、状態の変化がないか記録している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>昔の生活歴を把握し、現在、何ができるか、また、何を好んでいるか見極め、日常生活の中に取り入れ支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>真夏は涼しい早朝、冬場は暖い日中に散歩や、畑仕事をしている。車で買い物に行ったり、ドライブに出かけるなど気分転換も図っている。また、春や秋の気候の良い時期には、家族と共に遠方へお弁当を持ち出掛けている。</p>	<p>専用リフト付き介護車両で、ドライブや買い物に出かけたり、事業所周辺の環境を上手に利用して、夏場は朝食前に散歩したり、冬場は日中の散歩や畑仕事など、出来るだけ外気に触れることに配慮しながら支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は家族と相談して小遣い程度を持っている、買い物の際に好きな物を買ったり、近くの喫茶店へ出掛けるなど支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族と定期的に関わりがもてるよう働きかけ、本人が希望する場合は電話をしたり、手紙のやり取りができるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者が落ち着いて暮らせるようにその時々に応じて照明の明るさを調整するようにしている。また、季節感が感じられるように、季節の花や手作りの小物を置くなどしている。</p>	<p>事業所周りや中庭、玄関に季節の花が見られ、廊下の幅もかなり広くゆったり過ごせる共有空間となっている。利用者と職員が共同制作したクリスマスの装飾や職員の手作りのパッチワークを壁面に飾り、芸術的で暖かい雰囲気となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>談話室にはソファや畳コーナーがあり、庭や玄関先には、ベンチを設け、一人ひとりの思いに沿って過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が以前使っていた馴染みの物や好みの物の持参するなど、家族に協力してもらい、本人が居心地よく過ごせるよう配慮している。</p>	<p>使い慣れたタンス、ソファ、テレビ、時計、家族の写真など好みの物を置き、居心地のよい居室づくりの工夫をしている。居室は押入れを活用してきれいに整理整頓がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>出来ることは積極的に取り組んでもらい、出来ないことはさりげなく援助したり、声かけし、共に行うことで出来る限り力を活かして暮らせるように心掛けている。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名： みつば	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	その人らしい生活を提供できるよう日々職員同士で話し合いながら取り組んでいる。個々の要望に応えられるように取り組み、室内での生活ばかりにならないよう散歩や畑仕事、ドライブなどを取り入れ、地域の中の一員として暮らしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域住民の一員として町内会に加入し、年に2回田役に参加し地元の方々と交流を図っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	玄関先にベンチを設置し、入居者の方とご近所の方々が話をする事で、認知症の理解をして頂いている。今後、地域の方々をホームに招き、百歳体操や紙芝居による介護事業所等の説明など予定している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームでの取り組み状況を毎回写真にて紹介し、アドバイスをもらうなど、今後の取り組みやサービスの向上に繋げている。また、運営推進委員会の内容は玄関に提示している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議を通じて、ホームの実情を見てもらっている。また、サービスの中で困り事があった場合は相談するなど、協力関係を築くよう努めている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>事業所として身体拘束について定期的に勉強会を実施したり、外部研修にも参加するなど、職員の身体拘束をしないケアの意識は高く、理解できている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>事業所として高齢者虐待について定期的に勉強会を実施し、防止に努めている。また、業務の中で管理者が職員に助言や動機づけを行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、財産相続について協議中の利用者の親族がおり、成年後見制度について、市町村から話してもらうようにしている。職員の関心もあり、勉強会を予定している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ご本人やご家族と十分に話し合い、双方が理解納得ができるように取り組んでいる。また、その際にわからないことや疑問に思ったことについては、いつでも相談してもらえるようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者に日頃のかかわりの中で、不満や苦情がないか聞くようにしている。意見箱を玄関に設置しているが、いかされていない。直接職員に苦情があった場合には記録を残し、職員会で対応や今後の対策について話し合うようにしている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1回職員ミーティングを開催し日々の業務で気づいたことや、意見や提案を聞く機会を設け、運営に反映させている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>6月、12月に人事考課を行い、目標達成状況や、勤務状況により給与及び賞与に反映できるようにしている。また、国内外の職員旅行の支援など、職場環境・条件の整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員一人ひとりにあった研修を見極め、法人内外の研修を受講するよう支援している。また、毎月ホーム内で勉強会を実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>法人内のグループホームや事業所との交流はあるが、法人外の地域の同業者との交流する機会が少ない。県内の在宅所、グループホーム連絡会に入会して、職員の交流の機会や質の向上を図っていききたい。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居希望から決定までの間に、本人と面接を行い、本人の心身の状態や思いを受け止めるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居の申し込み時に、家族と面接を行い、家族の思いや困っていることを聞き取るよう配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際に、本人の状況等を聞き取り、関係事業所から情報を取り寄せ、連携を持つことで、その方に合った対応ができるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人のできること、できないことを見極め、介護される一方の立場におかず、共に暮らす者同士として、本人から学んだり支えあう関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアプラン作成時に家族にカンファレンスに参加してもらい、本人の状態を報告し、家族の意見、要望、悩みについて話し合う機会を持っている。また、家族がいつでも面会に来やすいよう信頼関係を築き、家族と共に本人を支え合っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族に協力を仰ぎ、馴染みの方や場所に連れて行ってもらえるよう働きかけている。また、職員と一緒に出かけられるように家族から情報を収集している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	当人同士がお互いに声を掛けたり、誘い合ったりできるよう、職員が仲介したり、散歩や家事等、共に生活していくなかで関係を築いていくよう、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>利用が終了した場合であっても、意向を聞いたり、相談に乗る旨を伝え、関わりを断ち切らないよう努めている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者一人ひとりの暮らし方の希望を本人や家族から聞き、日々の暮らしの中で思いや意向を引き出させるよう関わりを持ち、職員全員で本人本位に検討している。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの生まれてからこれまでの生活や暮らしを家族や本人から聞き取り、生活歴の把握に努め、出来る限り馴染みの暮らしが継続できるよう努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日々の暮らしの中で、一人ひとりの出来ること出来ないことを活かした活動を通じて、その人の有する力を見出している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>家族、担当職員、管理者、看護師にてカンファレンスを開催し、本人、家族の要望やアセスメント結果を踏まえ、意見やアイデアを出し合い、介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活、行動など、具体的に記録するとともに、利用者や家族の意見や、職員の気づきを共有し、介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族や入居者の要望に応じたサービスが提供できるように、関連施設等との連携を図り、支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域住民には日々の生活の中の協力を頂いている。スーパーは少し遠方ではあるが、利用者と食材の買い物に出掛けたり、近くの喫茶店にお茶をしに行っている。また、利用者の行方がわからなくなった際には、町内放送で呼びかけ搜索してもらうなど、協力体制ができている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>24時間連携が図れる協力病院があり、月2回の往診診療も受けている。かかりつけの病院がある場合については、家族対応にて受診しており、情報の交換もしている。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員を配置しており、入居者一人ひとりの健康管理や医療行為を行っている。その中で、急変や事故が発生した場合には、すぐに看護職に報告、連絡、相談し、対応できる体制になっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>医療機関や家族とも情報交換や意見交換を行い、早期退院に向け連携をとっている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の意向について、協力医と共に話し合いながら対応している。また、医師より看取り介護を要すると判断され家族が、看取り介護を希望された場合には、同意書を頂き対応する体制になっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年に1回は応急訓練を実施している。また、緊急時には在宅療養診療所の医師と連絡が相談ができる体制がとれており指示を仰ぐようにしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防署立会いのもと災害避難訓練を実施している、また、近々地区と合同の防災訓練を実施する予定となっている。</p>		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人前であからさまに介護をしないようにし、人格を尊重した言葉掛けをしている。また、居室で介助をする際には入り口の扉を必ず閉め、プライバシーの保護に努めている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日々の生活を共にし、寄り添い暮らすことで、出来ること、出来ないことを理解した上で、生き生きとした言葉や笑顔で、本人の思いや希望に沿って自己決定できるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	調理、洗濯、掃除など、一人ひとりのペースにあわせて作業するようにしている。また、どのように過ごしたいか希望があれば、思いに沿えるよう支援している。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	一緒にタンスの中からお気に入りの服を探し着て頂いている。お化粧品をしている方もいる。衣服が汚れた場合にはすぐ更衣している。		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	一緒に買い物に行き、食事の準備、片付けを行っている。季節の物を出来るだけ使い、畑で収穫した取れたての野菜を使ったりしている。また、行事に合わせた料理を考えて、楽しみになるよう工夫している。		
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	一人ひとり食べる量や形態を考慮し提供している。水分もお茶のほか、牛乳、コーヒー、紅茶など工夫している。食事量と水分の摂取量の少ない方は毎日摂取状況を把握している。3カ月毎に管理栄養士にメニューをみてもらい栄養バランスを確認している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、本人の力に応じた口腔ケアを実施し、必要に応じて介助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターン、リズムを把握し、時間誘導を行っている。入居後、殆どの利用者のオムツ使用が減っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便の確認を行い、2日間排便のない方にはプルーンジュースを飲んで頂いている。どうしても排便のない方には主治医に相談し、下剤を処方してもらっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	個々の希望に沿ってゆっくりと入浴できるようにしている、拒否や「後で」などタイミングあわない時は、無理強いせず、時間や日を変更したりしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	日中、散歩や畑仕事、ドライブ などで外気に触れることを多くし 、夜間は気持ちよく眠れるよう に支援している。昼間に傾眠や疲 労がある利用者は昼寝を行う など休息している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る	一人ひとりの薬の目的や副作用 、用法や用量について、ホーム の勉強会で理解するようにして いる。また、処方が変わった場 合は、職員全員が把握し、状態 の変化がないか記録している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	昔の生活歴を把握し、現在、何 ができるか、また、何を好んで いるか見極め、日常生活の中 に取り入れ支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している	真夏は涼しい早朝、冬場は暖い 日中に散歩や、畑仕事をしてい る。車で買い物に行ったり、ド ライブに出かけるなど気分転換 も図っている。また、春や秋の 気候の良い時期には、家族と共 に遠方へお弁当を持ち出掛けて いる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は家族と相談して小遣い程度を持っている、買い物の際に好きな物を買ったり、近くの喫茶店へ出掛けるなど支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族と定期的に関わりがもてるよう働きかけ、本人が希望する場合は電話をしたり、手紙のやり取りができるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者が落ち着いて暮らせるようにその時々に応じて照明の明るさを調整するようにしている。また、季節感が感じられるように、季節の花や手作りの小物を置くなどしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>談話室にはソファや畳コーナーがあり、庭や玄関先には、ベンチを設け、一人ひとりの思いに沿って過ごせるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が以前使っていた馴染みの物や好みの物の持参するなど、家族に協力してもらい、本人が居心地よく過ごせるよう配慮している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>出来ることは積極的に取り組んでもらい、出来ないことはさりげなく援助したり、声かけし、共に行うことで出来る限り力を活かして暮らせるように心掛けている。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名： れんげ	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない